（参考様式4）

事業所名　グループホームゆうわ苑

作成日：令和 6 年 3 月 31 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	介護度が平均して高くなっており、外出を行う際に必要な人員や労力が多くなっている。利用者それぞれでも身体状態などが違うため、利用者一同に会しての外出などは難しくなっている。また、職員の人数を増やしにくいため時間の捻出も難しくなっている。	定期的かつ継続した外出支援を行う	・利用者の参加は1人～2人の少人数で行うことで、対応する職員を減らす。 ・1回の外出は短時間なもの、かつ複数回に分けて行っていく事で、利用者全員に対して支援を行える形にする。	3ヶ月
2			買い物や複数人で行う外出支援を実行できる	・上記の短時間、少人数の外出支援を行っていく事で、職員や利用者が外出を行うことに慣れていく。　・各職員が計画を立て実施していく。　・法人内の他部署との合同で行うなど、グループホーム職員以外の手も借りる事の出来る環境を作る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

受付 6.5.16 柳井市

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「地域の皆さんと少しずつ交流を持ちながらその方らしい生活を送って頂く」ということを事業所の理念としているが、地域との交流の機会はほぼ無くなってしまっている。その分「その方らしい生活」を送って頂けるよう、ご家族との関りなどを極力増やせるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人での行事（ふれあい祭り）への参加や、地域主催の避難訓練へグループホーム全員ではないものの参加を行っている。	・十分説明を受けている。 ・参加されてとても楽しそう。 ・今後も地域交流に努められて欲しい。 ・地域への行事を可能な限り、積極的な参加を期待する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を年6回行うようにしている。グループホームの現状を報告し、意見を頂き、サービスに反映するようにしている。	・十分説明を受けている。 ・意見に反映されている。 ・今後も情報を提供して頂き、会議の活性化につなげて頂きたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じて報告・連絡・相談を行い助言を頂いている。	・十分説明を受けている。 ・報告を受けて、知らないことがよくわかる。 ・今後も情報を提供して頂き、会議の活性化につなげて頂きたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で人権尊重委員会を設けており、身体拘束に関する行為への理解や対策、研修を行っている。グループホーム内でも身体拘束検討委員会を作り、身体拘束が発生していないか確認や防止に努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接現場を見学出来てはいないものの、報告の限りでは問題ないと思われる。今後もコンプライアンスを基本とした入所者等への対応を期待する。身体拘束の必要性が見受けられて方に対して、どのような対応を行っているのかなどの報告を今後は伺っていきたい。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コンプライアンス委員会にて研修会を行い、虐待防止への理解・発生防止に努めている。グループホーム内でも虐待防止委員会を開き、虐待防止に努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	問題ない対応を行っていると思われる。今後もコンプライアンスを基本とした入所者等への対応を期待する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	現在、各制度による支援を必要としている方がいないため、制度の活用や勉強会は行っていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面を利用し、ご家族に十分な説明を行い契約を行っている。契約書の改定があれば、重要事項説明書を更新し、改めてご家族に説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関先に苦情相談受付担当者を掲示している。意見箱を設けている。もしくは可能であれば直接職員へ申し出てもらうことも可能である。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在の対応を継続しつつ、風通しの良い環境整備に努めて頂きたい。家族・外部からの意見などがあった際には、一覧などにして運営委員にも示して欲しい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接口頭での意見を受けるほか、日頃は連絡ノートを設置しその中で報告や情報の共有を行うことが出来るようにしている。不定期ではあるがミーティングを開き、その中でも意見を聞くようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で年2回の人事考課と目標管理の作成を行い、職員個々の努力や実績を評価出来るようにしている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の過重な労働などが無いよう気を付け、今後も取り組んでいってほしい。人事考課は難しいところだと理解している。複数人による相対的な評価での対応も考えてみてはどうだろうか。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内にて年間を通じた職員研修が計画されており、そちらに参加するようにしている。外部研修に関しては法人からの情報をもとに参加の機会を設けている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回資料提供されており、研修内容も理解できる。今後も計画的な研修の実施を続けてもらいたい。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム協会に参加し、研修などには参加するよう努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ユマニチュード自己点検」として、ユマニチュードの内容を職員が認識し、実践できるようにしている。毎月本人のご様子を報告し、ご家族との関係性の維持にも務めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の制限などもあるものの、毎月絵手紙を作成して頂きご家族に送ったり、みのり便りにて利用者の状況を確認できるようにしている。	・写真などで拝見できている。 ・今後も継続して対応して頂きたい。 ・様子がわかるのでみのり便りが来るのを楽しみにしています。 ・この取り組みには感謝しているし、状態の確認も出来ている。		
Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関りや本人の言動から、思いをくみ取れるように努めている。本人の意思表示が難しい場合でも職員同士で検討を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンス・モニタリングを通して、利用者のケアの内容に関して情報交換・検討を行っている。日々の関りの中でも、職員が必要だと感じた内容に関して情報交換を行っている。	・十分にできていると思う。 ・今後も継続して対応して頂きたい。 ・十分説明を受けている。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を個別に記録し、申し送りで言動や様子、対応などを職員間で共有できるようにしている。それらの情報をカンファレンスや介護計画の作成に活用している。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。勤務交代時の引継ぎをしっかり行うことで、職員同士の情報共有をして頂きたい。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診や介護用品の紹介、訪問看護の紹介など利用者・ご家族の状況に沿ったサービスの提供に努めている。	・十分にできていると思う。 ・今後も継続して行って頂きたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	法人を通じて協働している。	・自己評価で「あまりできていない」となっているので、法人ともよく協議されもっと充実することを期待する。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時、地域にかかりつけ医がある方は引き続き利用され、特にない方には協力機関をかかりつけ医とし、1ヶ月に1回程度の定期受診を行っている。特変時にも対応出来るようにしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期受診の際に、利用者それぞれのかかりつけ医との情報交換・相談を行っている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。今後も医師との連携を強めた対応を行って欲しい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護で対応できる場合を除き、日常的に医療行為や管理が必要となった場合には対応が困難なため、ご家族と話し合い医療機関への入院が主となっている。重度化については指針の説明を行いつつ、どこまで対応できるかは曖昧な為ご家族と協議し支援に取り組む。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、取り組めていると思われる。ご家族が十分に納得できる説明により、安心できる親切な対応を行って欲しい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内に事故防止委員会が設置されており、勉強会に参加し事故防止に取り組むとともに、消防署の救命救急講習を定期的に受けている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練や土砂災害、津波警報など各災害に対応した避難訓練を行い、避難方法を確認するようにしている。	・地域と協力して行っていると思います。 ・関係機関と連携した訓練の実施を行っていってください。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。今後も関係機関と連携した訓練の実施を行っていって欲しい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄・入浴介助などの日々の関りの中で、ユマニチュードに沿ったケアやホスピタリティに配慮した言動を心掛けている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。人権の尊重を基本とした対応の継続を行っていって欲しい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床・食事などの要所要所で大まかに時間は決まっているものの、本人の意思や体調に合わせて柔軟に対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は法人の厨房から決まった献立が用意されている。利用者の状態に合わせてソフト食やキザミ食を提供している。ごはんと汁物はグループホーム内で作っており、各々の体調に合わせてお粥にしたりと調整している。現在の利用者の状態では配膳準備などは難しいため行えていない。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り取り組めていると思われる。食事は人間にとっての楽しみの一つでもあるので、今後も利用者が喜ばれる食事の提供を行っていって欲しい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の状態に合わせた栄養バランスがとれた食事を提供している。毎食の食事量や、食事時・10 時・15時に水分量の記録をしている。その他にも利用者各々の状態によって水分を摂ってもらっている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後にうがいを行い、夕食後には利用者に合わせて歯磨きや義歯洗浄を行っている。義歯は夜間はポリデントにつけて預かり、起床時に装着するようにしている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。今後も継続して実施して欲しい。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の記録を取り、一人一人のパターンや習慣に合わせて排泄の声掛けや誘導を行っている。夜間にも排泄の間隔を見て声掛けを行い、トイレにて排泄を行うように促している。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。大変ではあるものの、今後も現在の対応を継続していって欲しい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は最低週に 2 回は行うこととして 15 時～17 時の間に行うようしているが、利用者の気分や体調に合わせて清拭・更衣に変えている。必要な方には機械浴での入浴を行っている。土・日には足浴を行い、楽しんで頂いている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の臥床は基本的には本人の意思に沿うようにしているが、昼食後に臥床の時間を作ってもいる。夜間は一人一人の生活習慣に合わせて就寝して頂いており、眠たそうにしている場合には声掛けを行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の担当者を決め、担当者を中心に薬の管理を行っている。薬の一覧表はカルテに閉じ、全職員が把握に努めている。本人の状態については定期受診時などに、書面やご家族を通じて主治医・薬剤師に情報を提供している。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。ご家族が安心できる対応を、今後も継続していって欲しい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月扉飾りを作成し各居室の扉に飾ったり、絵手紙を作成しご家族へ送っている。日々の音楽レクや季節に合わせたレクリエーションを行っている。ご家族から利用者の趣味の物品を預かり、グループホームで楽しまれている方もいる。	・運営推進会議資料の中で写真を見せてもらっているので、様子が分かります。 ・毎回情報提供をして頂いています。今後も宜しくお願いします。 ・利用者それぞれで様子が違う中、良く行っていると思います。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	施設外への外出などは行えないでいる。近場の散歩などは行えるものの、身体状態などから少数の方のみ行えるにとどまっている。	・コロナ等もあり、難しかったことだと思います。 ・今の状況ではやむを得ないが、今後も実施への努力はお願いしたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	個人の金銭所持はトラブルになるため認めていない。外出レクの際にご家族からの預り金を一時利用者へお渡しすることは出来るものの、現在外出は行えないでいるため機会が無い状態。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が希望時にはご家族に電話が行えるようにしている。毎月絵手紙をご家族へ送るようにしている。手紙などが利用者へ届いた際にはお渡ししている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合った壁紙飾りや扉飾りを設置している。季節のレクリエーションに合わせて室内の飾りつけを行っている。照明は利用者の意向や体調に合わせて調整している。冬場には加湿器を設置している。感染症対策の為適宜換気を行っている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。感染症対策には、特に留意した対応を行っていって欲しい。
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	衣服の好みなど本人の思いを考慮した選択をとれるように対応している。それまでの生活に沿ったもの、または本人への負担の無い生活となる様に対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの情報をもとにケアプラン作るようにしている。身体の状態や本人・家族の意向に沿った対応を行うようにしている。ご家族との外出など要望があれば行われている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、服薬の確認、排泄の有無の確認等、日々の健康チェックを行っている。週に一回訪問看護師による健康チェックも行われている。かかりつけ医に定期的に受診され、ご家族・医師へ日々の情報を渡すようにしている。必要であれば職員による送迎も行っている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。今後も、安心して生活できる環境整備を行っていって欲しい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状態や、起床・就寝の時間などこれまでの生活をふまえたものを基本としつつ、日中の臥床や排泄のタイミングなど本人の希望に合わせて誘導など必要なケアを行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個室なため、家具など本人の物を持ち込んでも可能になっている。実際には衣服などはもちろんの事、時計など持ってこられている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り、十分に取り組めていると思われる。本人との会話を大切にした対応を行っていって欲しい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	施設近くの散歩などは行えるが、行事参加のため外出などは中々行えないでいる。法人で行った祭りや、ご家族対応での外出などは行うことが出来ている。	・写真などで紹介をして頂いており。今後も情報提供をお願いします。 ・無理のない程度で実行してください。 ・理解しています。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テレビ番組を観たい方などはフロアで過ごされることが多い。利用者それぞれの状態に合わせて、毎朝に新聞を読むといった習慣や、洗濯物をたたんでもらうといった手伝いなど行ってもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者や、職員との日々の会話を行っている。体操などレクリエーションへの参加やご家族に送る為の「絵手紙」の作成を毎月行っている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	説明を受ける限り取り組めていると思われる。利用者が楽しく生活・活動が出来る対応に、今後も取り組んでいって欲しい。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない (D.) ほとんどできていない	法人開催の「ふれあい祭り」の参加や、地域主催の避難訓練へグループホームとして一緒に参加している。	・地域の人（例えば保育園など）との交流などは行えないでしょうか。 ・地域に出るには職員の人数が必要なので難しいかもと思います。 ・理解しています。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の状態などにより利用者それぞれで差異はあるものの、本人の意向に沿った日々の暮らし、健康に配慮した生活を行うことが出来ている。他者との交流など、暮らしの中での楽しみを感じてもらうことも出来ている。施設外の活動はあまり行えていないので課題となっている。	・十分説明を受けています。 ・外出を行うことは中々難しいと思います。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や地域との交流には色々とハードルがあると思われるが、実行に向けて取り組んでいって欲しい。今後もご本人やご家族が安心して預けることが出来る施設となるよう期待している。